

楊再春書法作品集

第貳卷
大學出版社

楊再春書法作品集

北京體育大學出版社

策劃編輯:楊 木 責任編輯:魯 牧
審稿編輯:秋 圃 封面設計:王榮憲
責任印制:長 立 陳 莎

楊再春書法作品集

北京體育大學出版社出版發行
(北京·中關村北大街 郵編:100084)

新華書店總店北京發行所經銷
北京雅藝彩印有限公司印刷

開本:787×1092 毫米 1/12

印張:15

插頁:8

定價:40.00 元

2001 年 7 月第 1 版第 5 次印刷

印數:15001—17000 冊

ISBN 7—81003—486—3/J·114

(本書因裝訂質量不合格本社發行部負責調換)

致 讀 者

常常有讀者和一些青年朋友給我來信。因為，我是楊再春先生幾部書的責任編輯。希望楊再春先生出一部作品集，並將自己的創作方法、工具的選擇和學習書法的過程與體會寫出來，以資學習或參考。我征得了楊先生的意見，他非常高興樂於此事。經半年多的準備，這本《楊再春書法作品集》面世了。

據我所知，楊先生筆耕已有三十年之久，他全部的業餘時間都在潛心地研究書法，精心地臨習前賢的碑帖，用前人創造的筆墨經驗去師法造化。創作時他態度十分嚴謹，一幅作品往往要寫上幾遍或十幾遍。他師承古人，追摹先輩，然而在創作過程中，又力求突破古人的筆墨程式，將中國豐厚的書法藝術遺產的營養消化，成為自己的靈魂與血肉。他極力反對摒棄傳統，另起爐灶追求時尚的創作方法。他主張不管古人或今人祇要有收益能啓迪創作的靈感，一併汲取。

這個作品集裏，凝聚着他的心血。他見長行草書，也涉獵其它書體。他常說：“書法是一門綜合的藝術。沒有堅實的基礎，便不會攀登藝術之塔。”正是這樣，他常撫案臨習漢隸、魏碑和唐楷，以及歷代名家的墨跡，從中尋找這藝術王國中的金子。他對我說：“趙松雪曰揮毫萬字，我差得遠呢！”他是個體育工作者，能在書法天地裏奔走了幾十年，而且取得了一點成績，這與他勤奮不輟孜孜以求的精神是分不開的。他不倦地耕耘，不斷地探索，不時地苦思冥想，在漫長的藝術之路上會留下辛勤的勞跡。

編輯出版這本集子，讀者如能從中得到一些教益與收穫，這將是我最大的寬慰。由於水平所限，思緒難以周密，編輯過程中的疏漏或淺薄之處，祈望書家學者和朋友們教正。

魯 牧

一九九一年元月於北京

目 录

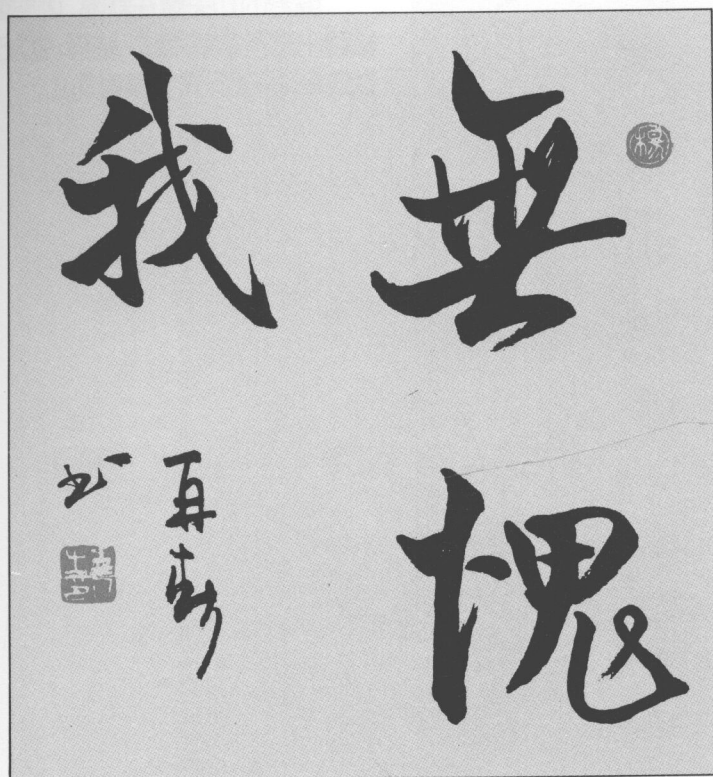
致 讀 者

無愧我(行書).....	(1)
默臨王羲之《蘭亭序》帖局部.....	(2)
天下知交老更親(行草書).....	(3)
懷泉清寧(楷書).....	(4)
清•程正詩(行書).....	(5)
花落春無語 春歸鳥自啼(行草書).....	(6)
悟藝(隸書).....	(7)
澄神靜慮(行楷書).....	(7)
福寶(楷書).....	(8)
道德經第五十六章(楷書).....	(9)
靈化(隸書).....	(10)
路漫漫(草書).....	(11)
秦觀 虞美人(行書).....	(12)
靜心(隸書).....	(13)
烟柳畫橋 風簾翠幕(行書).....	(14)
題無憂堂句(行書).....	(15)
白蓮青竹(行楷書).....	(15)
天地寬(行草書).....	(16)
傾聽寬慰 傳業不難(行書).....	(17)
劉禹錫詩(行草書).....	(18)
春雨杏花江上客 秋風楊柳晚來詩(行書).....	(19)
彩雲歸(隸書).....	(20)
烟雲入畫(行草書).....	(21)
林逋 點絳脣(行草書).....	(21)
陳子昂詩句(草書).....	(22)
書畫生古趣 翰墨傳真情(行草書).....	(23)
劉振翁《辛稼軒詞序》(行書).....	(24)
不容易(行書).....	(25)
張來 詩(行書).....	(26)
晚霞堂(隸書).....	(27)
樵歌一曲衆山皆響 松風滿耳萬壑爭流(草書).....	(28)
歸尋真源(隸書).....	(29)
不辨風塵色 安知天地心(草書).....	(30)
秦觀 鵲橋仙(行書).....	(31)
凌雲之志(行書).....	(32)
觀 遠(草書).....	(33)
山高自有客行路 水深何愁渡船人(草書).....	(34)
王梵志 詩(隸變行書).....	(35)
一庭秋水 四壁書聲(行書).....	(36)
風滿樓(行書).....	(37)
鄧石如長聯(行楷書).....	(38)
志 遠(行書).....	(39)
放浪一杯酒 収心三尺書(草書).....	(39)
文天祥 過零丁洋(草書).....	(40)
夏荷曉月 秋桂華香(行楷書).....	(41)

昆明大觀樓 長聯(行書).....	(42)
論書句(楷書).....	(43)
《蘭亭序》集聯(行楷書).....	(44)
省廬(魏行書).....	(45)
鄭板橋 詩(行書).....	(46)
孟浩然 春曉(行書).....	(47)
牛勁(隸草書).....	(48)
笪重光 詩(行書).....	(49)
梅香楓紅(行書).....	(50)
歐陽修 詩(行書).....	(51)
濯清泉而自潔 坐茂樹以閑居(隸書).....	(52)
李清照 詩(行書).....	(53)
潑墨爲山皆有意 看雲出岫本無心(草書).....	(54)
秋光寒色(行書).....	(55)
《三國演義》三十七回詩(行草書).....	(56)
養氣得天壽 靜讀有德風(行書).....	(57)
蘇軾 江城子(隸書).....	(58)
李商隱 詩(草書).....	(59)
長風頌(隸行書).....	(60)
竹 蘭(行草書).....	(61)
蘇軾 詩(草書).....	(62)
當時明月在 曾照彩雲歸(行書).....	(63)
李賀 詩(魏行書).....	(64)
小店青簾疏雨後 遙邨紅樹夕陽中(草書).....	(65)
凌 雲(草書).....	(66)
樓臺金碧將軍畫 水木清華僕射詩(行楷書).....	(67)
張炎 高陽臺(行書).....	(68)
松柏有本性 山水含清暉(行草書).....	(69)
李白 詩(隸行書).....	(70)
晏殊 蝶戀花(行草書).....	(71)
王士禎 句(草書).....	(72)
骨氣(行書).....	(73)
鄭板橋 詩(行書).....	(74)
返樸歸真(行書).....	(75)
一夜風濤如瀆海 萬里山風出飛龍(行草書).....	(76)
和 暢(魏書).....	(77)
花 影(行書)*.....	(78)
春風不過去 詩客及時歸(行草書).....	(79)
杜甫 詩(行書).....	(80)
魯迅 詩句(隸行書).....	(81)
清風有意難留我 明月無心自照人(行書).....	(82)
李清照 詞(變體行書).....	(83)
明月清風(行書).....	(84)
陸游 詩(行書).....	(85)
千秋筆墨驚天地 萬里雲山入畫圖(草書).....	(86)
秋風正濃(行書).....	(87)
楊萬里 詩(行書).....	(88)
知 我(草書).....	(89)
野 味(草書).....	

天意憐幽草 人間重晚晴(草書).....	(90)
楊萬里 詩(行書).....	(91)
長城頌(行書).....	(92)
虎(草書).....	(93)
危樓日暮人千里 倚枕秋風雁一聲(行書).....	(94)
海爲龍世界 雲是鶴家鄉(變體行書).....	(95)
浮雲游子意 落日故人情(草書).....	(96)
認天地爲家休嫌居空小 轉乾坤作志堪稱胸懷寬(變體行書).....	(97)
筆 舞(淡墨草書).....	(98)
曹孟德 詩(草書).....	(99)
茶香秋夢後 松韻曉吟詩(行書).....	(100)
莫愁前路無知己 天下誰人不識君(行草書).....	(101)
望湖樓下水如天(行草書).....	(102)
觀滄海(魏書).....	(102)
樂 也(草書).....	(103)
恩深如海(楷書).....	(103)
鄭板橋 詩(行書).....	(104)
司空曙 詩(行草書).....	(105)
謹言慎行(楷書).....	(106)
酒 神(淡墨草書).....	(107)
江山開眼界 冰雪得精神(行書).....	(108)
觀雲海(草書).....	(109)
讀帖得句(行書).....	(110)
莫愁齋(行書).....	(110)
《三國演義》開篇詞(行草書).....	(111)
書道綿遠 翰墨情深(行草書).....	(112)
鄧拓 詩句(行草書).....	(113)
王冕 詩(行書).....	(114)
道德經 節錄(行書).....	(115)
鶴 舞(草書).....	(116)
倪元路 詩(行草書).....	(117)
手中無所有 聊贈一枝春(草書).....	(118)
愛蓮說 句(行書).....	(119)
蘇軾 念奴嬌(行書).....	(120)
道德經摘句(行楷書).....	(121)
披雲對清朗 含景望芳菲(行書).....	(122)
楊凝式《盧鴻草堂帖》句(行書).....	(123)
杜牧 詩(行書).....	(124)
張繼 詩(行書).....	(125)
怒濤卷霜雪 雲樹繞堤沙(行書).....	(126)
白居易 詩(草).....	(127)
范仲淹 岳陽樓記(行楷書).....	(128)
江山代有人才出 各領風騷數百年(草書).....	(129)
孫子兵法 《用間篇》節錄(楷書).....	(130)
杜甫 詩(節錄)(行草書).....	(131)
朱熹 詩(節錄)(行草書).....	(131)
朱熹 詩(行書).....	(132)
楊萬里 詩(行草書).....	(133)
竹影荷香(行書).....	(134)

絕妙生花處(行書).....	(135)
花心起墨暈 春色散毫端(行書).....	(136)
凝神造物(楷書).....	(136)
學書偶得句(行草書).....	(137)
《天發神讖碑》選臨(篆書).....	(138)
陸 游 釵頭鳳(行書).....	(139)
春風可度玉門關(草書).....	(140)
玉書金簡(楷書).....	(141)
寵辱不驚看庭前花開花落 去留無意望天上雲卷雲舒(變體行書).....	(141)
趙彥端 點絳脣(行書).....	(142)
選臨《九成宮》碑(楷書).....	(143)
物華天寶 人傑地靈(隸書).....	(144)
白鶴游雲(行書).....	(145)
心曠神怡(行書).....	(145)
學書偶得句(行書).....	(146)
劉 邦詩(變體行書).....	(147)
海 神(行草書).....	(148)
竹影寒窗 行書).....	(148)
讀—史(隸行書).....	(149)
《顯祖成嬪墓志》選字(楷書).....	(150)
無 遐(隸行書).....	(151)
道德深遠矣(行書).....	(152)
虛懷若谷 靜坐自然(行楷書).....	(153)
遠山芳草外 流水落霞中(行草書).....	(154)
范仲淹 蘇幕遮(行楷書).....	(155)
能容毀譽風中過 滿帟烟雲筆底穿(行草書).....	(156)
王僧虔論書句(行草書).....	(157)
歲史春始(楷書).....	(158)
難在人情反復間(草書).....	(158)
唯德天道(楷書).....	(159)
道(行書).....	(159)
萬樹梅花一潭水 四時烟雨半山雲(行書).....	(160)
龍騰鶴舞(篆書).....	(161)
志懷高遠(楷書).....	(161)
落帟雲烟(行草書).....	(162)
筆追清風洗俗耳 心奪造化回陽春(魏行書).....	(163)
動生神(行書).....	(164)
四海爲家(篆書).....	(164)
諸葛亮 句(隸書).....	(165)
楊萬里 詩(行書).....	(166)
讀帖得句(楷書).....	(167)
座右銘句(行書).....	(168)
風清雲靜 日暖花香(行書).....	(169)
刪繁就簡三秋樹 立異標新二月花(隸行書).....	(170)
柳苑飛花落 杏邨沽酒香(行草書).....	(171)
徐悲鴻 詩(草書).....	(172)



無愧我

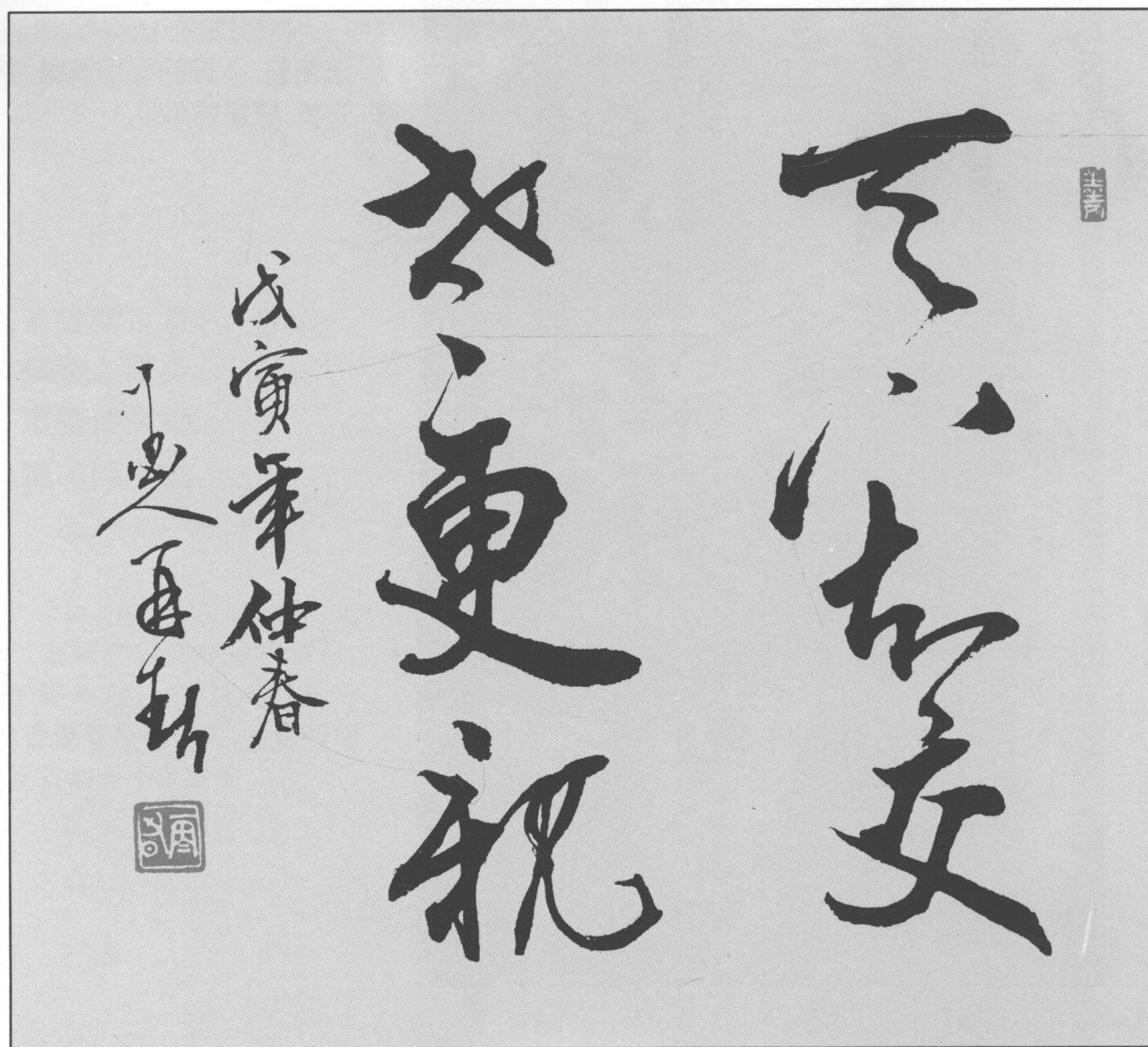
這幅小中堂三個字從筆法到結構完全取米芾書體風格。臨帖的目的是實用，把臨的字帖變為自己書法創作的借鑒，是有一個過程的，達到背臨才能運用自如。

默臨王羲之《蘭亭序》帖(局部)

臨習的功夫應在默臨，因對臨數遍也不能檢驗出是否掌握筆法、結構。此帖共二十八行，默臨每次四行，直到掌握為止。

天朗氣清惠風和暢仰觀宇宙之大俯察品類之盛
所以遊目騁懷足以極視聽之娛信可樂也夫人之相
與俯仰一世或取諸懷抱悟言一室之內或因寄所
託放浪形骸之外雖趣舍萬殊靜躁不同當其欣於所
遇暫得於己快然自足不知老之將至及其所之既
倦情隨事遷感慨係之矣向之所欣俛仰之間





天下知交老更親

七個字行草書斗方兩行，要注意草書行書的交替使用。“交”、“更”二字都有捺筆，不可雷同。作品中點有九處，強調其變化。

懷泉清寧

得歐陽詢九成宮碑筆法，歐字的筆法特點，入筆時多爲露鋒，折筆處多爲方折，捺筆爲平収。

懷泉
清寧

得歐
倅

筆法

庚午
之

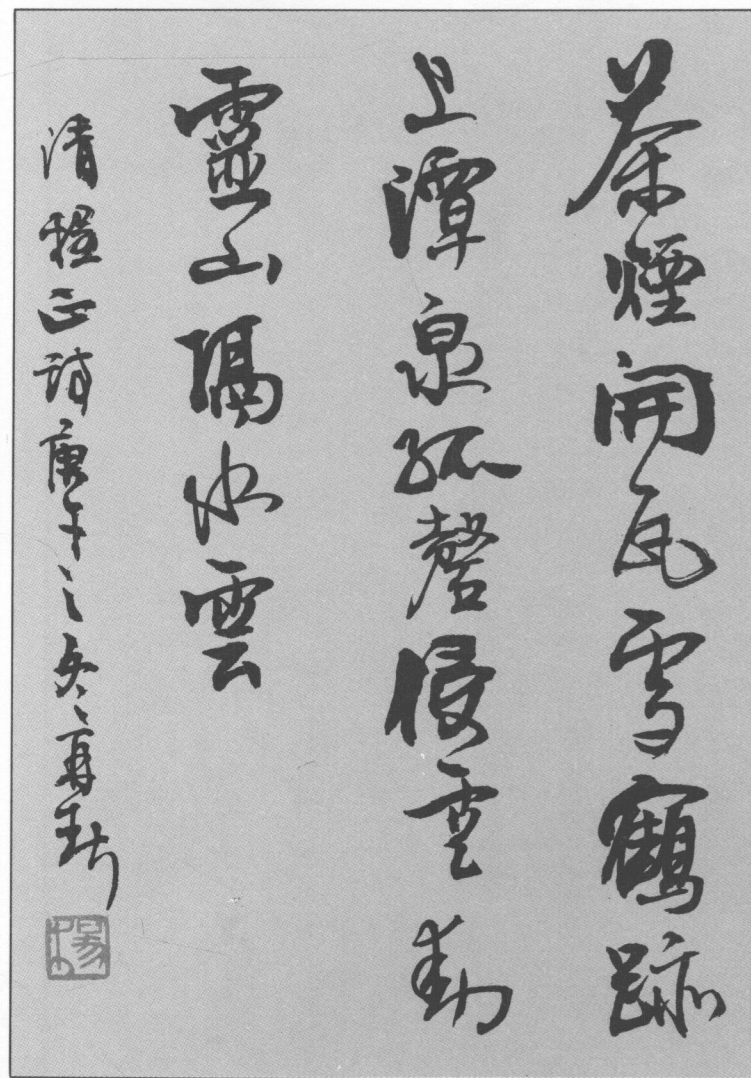
冬



茶煙開瓦雪，
鶴蹟上潭泉。
孤磬侵雲動，
靈山隔水雲。

清 程正 詩

這幅作品要注意其筆法，
用狼毫筆書之，折筆處都是方
折，輕重筆變化不大，整幅作品
采用收勢而不是縱放。



花落春無語 春歸鳥自啼

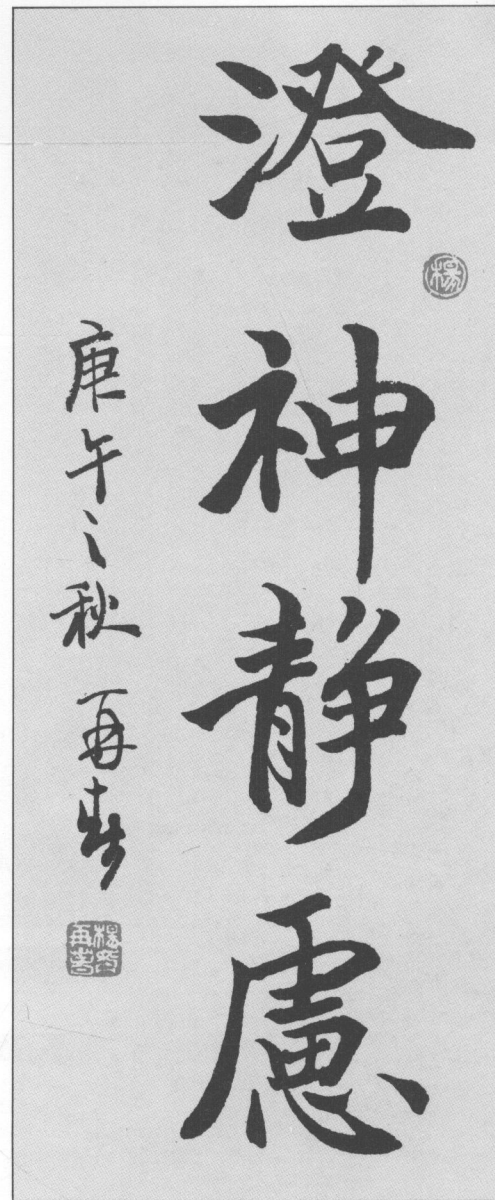
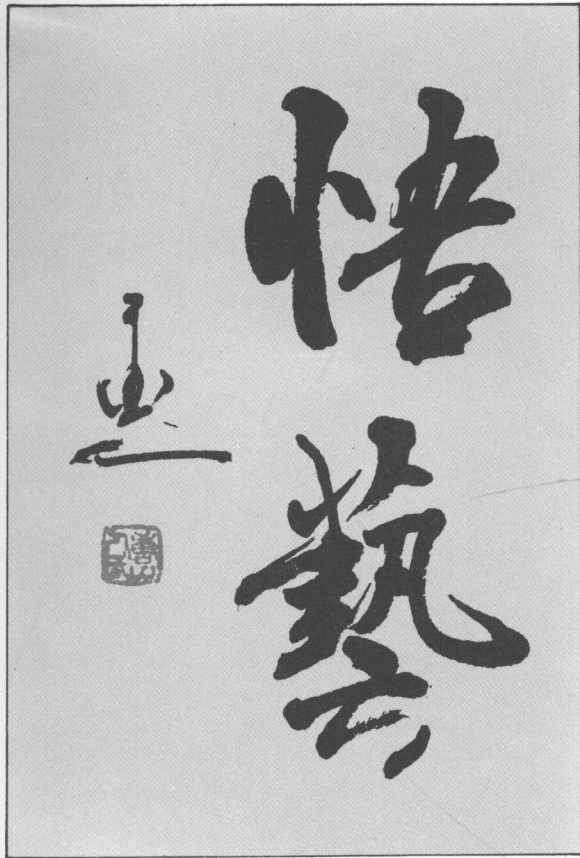
這幅作品中要注意字與字之間連綿不斷的區別，如“落春”、“無語春”、“鳥自”三組連接筆的變化。兩個“春”字的有別，“歸”與“啼”兩個長豎筆一長一短，在書法創作中要充分考慮這些因素。

花落春無語
春歸鳥自啼

朱淑貞詩句 戊寅年桃月 墨



悟 藝



澄神靜慮

這幅作品注意，每個字的橫起筆的變化，尤其一個字中幾處橫起筆更是如此。如“靜”字左旁，“慮”字六處橫筆。



福 寶

作品完全取《經石峪》筆法，以求厚豐飽滿。是用大號羊毫筆書寫的。作品創作過程中筆的選擇非常重要，這幅作品開始用長鋒羊毫筆來寫，結果不理想，又換硬毫筆寫也不如意，最後選擇了大號羊毫筆，才有這樣的效果。

和其光同

謂玄同故

(局部)

知者弗言言者弗知塞其悶閉其門
和其光同其塵坐其閱解其紛是
謂玄同故不得而親亦不可得而疏
不可得而利亦不可得而害不可
得而貴亦不可得而淺故為天下

貴

錄道德經五十六章楊再芳



知者弗言，言者弗知。塞其悶，閉其門；和其光，同其塵；坐其閱，解其紛；是謂玄同。

故不可得而親，亦不可得而疏；不可得而利，亦不可得而害；不可得而貴，亦不可得而淺；故為“天下”貴。

道德經 五十六章